

12月

月間指導計画

1歳児



保育目標		言葉によるコミュニケーションを図ろうとする。 クリスマスソングに合わせて体を動かしたり、歌うことを楽しむ。			
子どもの姿		食べ物の好みがはっきりとして、苦手な野菜があるとお皿を押し返すことがある。 玩具の取り合いなどトラブルが起きた際に、「やめて」と伝える子もいるが、泣いて訴える子もいる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	こまめに手洗いをして、清潔にしようとする。	ハンドソープを使用する場合は、必ず保育士が管理をする。	「あわあわ」など声に出して、手洗いを積極的に行なっている。	手洗いに関する絵本を読むなど、清潔にすることを無理なく習慣にできるようにする。
	情緒	友だちに興味を持ち、一緒に手を繋いで歩いたり、泣いていると頭を撫でたりする。	優しさを認め、お互いの嬉しい気持ちに気がつくよう、保育士が気持ちを代弁する。	友だちと過ごすことを喜び、目を見合わせて笑っている。	「嬉しいね」「一緒だね」など、子どもの気持ちに寄り添った言葉をかけて、共感する。
教育	健康	冬を元気で健康に過ごす。	ひとりひとりの健康状態を把握し、厚着になりすぎないように衣服を調節する。	フードが付いた防寒着を持参している子もいる。	フードによる事故が起こりやすいことを保護者の方に伝え、危険のない防寒着を持参していただく。
	人間関係	自分の思いを通す中で、保育士の代弁により相手の気持ちを知らうとする。	言葉で伝えられたことを認め、双方の思いを受け止めて代弁する。	「いや」「やめて」など、言葉で伝えている。 泣いて訴えている子もいる。	言葉で伝えるのが難しい子もいるので、見守りながら、場面に応じて代弁するなど、個別で対応する。
	環境	クリスマスの製作や飾り付けをし、楽しく過ごす。	期待を持って取り組めるよう、絵本やクリスマスソングなどで十分に導入をする。	出来上がった作品を見て、サンタやトナカイなど、絵本に出てきたことを保育士に伝えている。	飾り付けを子どもと取り組み、クリスマスに期待が持てるようにする。
	言語	絵本に出てくる簡単な言葉を模倣し、保育士や友だちとやり取りをする。	印象に残る言葉が出てくる絵本を読み、楽しさを共感する。	言葉の面白さを感じて、何度もやり取りを楽しんでいる。	繰り返し読むことで言葉の楽しさを伝え、遊びの中でも絵本の内容を取り入れ、より身近なものになるようにする。
	表現	保育士や友だちとクリスマスソングを歌ったり、踊ることを楽しむ。	模倣しやすいリズムのものを選び、クリスマスの楽しい雰囲気が伝わるよう、保育士自身が楽しんで歌い、踊る。	曲が流れると喜び、自分から楽しんで参加している。	ひとりひとりの良い所を褒め、自信を持って取り組めるようにする。
食育		野菜スタンプをして野菜に興味を持ち、苦手な野菜も食べてみようとする。	オクラや蓮根など、形の面白さが出る野菜を積極的に使う。	「ほし」「まるいっぱい」など、それぞれ感じたことを保育士に伝えている。	苦手な野菜が出てきた時にも、スタンプをした作品を見て振り返れるよう、子どもたちから見やすいところに掲示しておく。
健康・安全		冬の感染症が流行りやすい時期なので、まん延しないよう、保育室の換気や、気温、湿度などに気を配り、玩具の消毒など行う。			
保護者支援		フードが付いた服や防寒着は危険もあるため避けていただくよう、改めてお願いしておく。			